

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズルームびすけっと		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者アンケートから、事業所の支援に対する満足度について高い評価をいただきました。そのことが事業所の強みであると考えます。	児童に対して「だめ」の言葉を事業所NGワードをして取り組んでいます。児童一人一人の思いや意欲を大切にしながら、一人一人に沿った先を見据えた現在の支援、活動プログラムを計画し、実施しています。	今後も当事業所を利用する児童及び保護者の皆さまに信頼と安心感をもって利用していただけるよう、一人一人を大切にしたい支援に努めています。
2	当事業所は地域の学校、支援学校、異年齢の児童が毎日一緒に過ごしています。“ホンモノに触れる”をモットーに、生活経験を豊かにするための様々な社会体験活動を企画し、また毎日帰りの会を実施し、そこで5領域を意識した集団活動を取り入れています。	楽しみながら育ちを促すため、まずは職員がわくわくすること、子どもたちが楽しんでいる様子を想像し、児童全員が楽しむためにはどうすればよいかを常に話し合っている企画しています。	今後もみんなで振り返りながら、良かったこと、困ったこと、失敗してしまったことも共有し、良い方法を全員で考えていきチームを作っていきます。
3	送迎を行っていることは事業所の強みの一つと考えています。保護者の皆さまからも多数声をいただいています。	安全を第一に送迎を行っています。送迎の際に保護者様と顔を合わせてお子さんの様子をお伝えしたり家庭での様子をうかがったりと職員全員が保護者さまとコミュニケーションを図る機会になっており、そこで情報共有したことが支援のヒントにつながることも多々あります。	状況に応じて保護者さまに協力をいただきながら、引き続き子どもたちの安全に配慮した送迎に努めています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者アンケートの結果から、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもとの交流活動の機会が少ないことに課題があることが考えられます。	児童館を活用したり地域の子ども食堂へ参加、長期休みには公施設を利用し、他事業所との交流を行っています。ただ、曜日が限られていたり実施したことの周知が不十分であることが課題の要因と考えます。	地域との交流会活動は子どもたちの成長に大きな意味があると考えています。地域とのつながりの意識をもって活動の企画や周知面を工夫していきます。
2	保護者アンケートの結果から、家族支援や活動プログラム、マニュアル関係などの周知に課題があることが考えます。	各種情報の周知については、契約時やモニタリング面談時、お便りや連絡帳、HPなどで説明・周知を行っていますが、まだまだ不十分であることが課題の要因と考えます。	今後も引き続き、契約時やモニタリング面談時、お便りや連絡帳、HPを通じて丁寧な説明に努めます。各種マニュアル等についてはいつでも閲覧できる環境となっており、そのような環境であることも周知していきます。また、開かれた事業所であるために、これまで同様、いつでも事業所の様子を参観していただけるようにしていきます。
3	保護者様アンケートの結果から、家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供、保護者同士の交流、きょうだい同士の交流の機会が設けられていないことが課題と考えます。	個別のモニタリング面談や必要に応じた情報提供、外部研修の案内等は掲示をしましたが、事業所主催での家族支援、家族同士やきょうだい同士への支援が実施できませんでした。	来年度以降、保護者様に確認しながらニーズに応じた方法を検討していきます。